

平成23年3月1日発行

会員各位

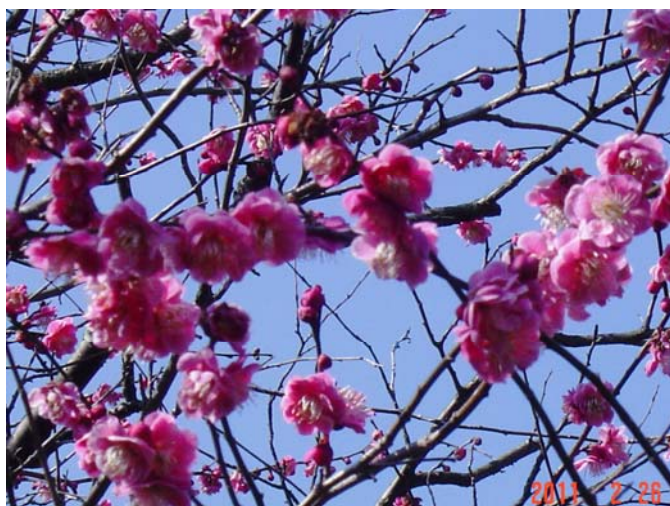
協会だよりー219(3月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

<トピックス>

- 3月1日(火)2010年度・資源化実績調査票のメール発送(報告は4月30日まで)。
- 3月8日(火)平成23年度年会費請求書の発送。
- 第23回JSCRA会、3月24日(木)、中山カントリークラブで開催。



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 寄贈文献
【予定事項】
- 三. 会員の協会担当者交代
(相田化学工業㈱殿)
- 四. 第208回月例会講演会は無事終了
事務局より(二月度の予定)
- 五. 【雑学】発祥地(私学播磨の地区)
- 東京女子館大学
- 津田塾大学

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① **協会だよりー218(2月号)**をメール&郵便で送信(2/1)
- ② 平成22年度第二回役員会
日時: 2月8日(火) 10:30~12:00
場所: 株徳力本店会議室
議題: 総会日の決定、中間決算、会員増強、2011年度の方針、他
- ③ 第208回月例会(講演会、新春懇談会)
日時: 2月17日(木) 15:30~20:00
場所: JXグループ・六本木クラブ会議室、和室
演題: クリーンコールテクノロジー~地球環境との調和~
講師: NEDO 環境部 矢内俊一氏

【予定事項】

- ① 2010年分の資源化実績報告依頼の発送。
日時: 3月1日(火)
仕様: 協会正担当者へメール添付で依頼。

- ② 第2回調査・技術委員会
 日時：3月3日(木) 15:30~17:00
 場所：日興リカ㈱会議室
 議題：2010年度版資源化実績報告書作成方針、他。
- ③ 第8回運営委員会
 日時：3月18日(金) 15:30~17:00
 場所：堺化学工業㈱会議室
 議題：2011年度の月例会(見学会、講演会)の運営方針、他。
- ④ 第23回JSCRA会(協会ゴルフコンペ)
 日時：3月24日(木) 8:30集合
 場所：中山カントリークラブ(千葉県八千代市桑橋1299)
 参加者：13名

2. 寄贈文献

- Focus NEDO 2011 No.40 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)

【特集】資源リスクに備える **レアメタル対策技術**

- ① 稀少金属に関する我が国の「リスク」調査
- ② 産業界との連携を強化。実用性を加速。
- ③ NEDOが実施する稀少金属代替材料開発プロジェクトの概要
 ハイテク製品の製造に不可欠であり世界的な需給逼迫が懸念されるレアメタルについて、ナノテクノロジー等の最先端技術を活用して、代替材料開発・使用量削減を行う。
 2007年度開始の鉱種
 - **インジウム (In)** 透明電極向けインジウム代替材料開発
 参加団体：高知工科大学、アルプス電気、カシオ計算機、ジオマテック㈱、白水テック㈱、三菱瓦斯化学㈱
 - **ジスプロシウム (Dy)** 希土類磁石向けジスプロシウム使用量低減技術開発
 参加団体：東北大学、山形大学、(独)物質・材料研究機構、(独)日本原子力研究開発機構、㈱三徳、インターメタリックス㈱、TDK㈱、トヨタ自動車㈱
 - **タングステン (W)**
 2009年度開始の鉱種
 - **プラチナ (Pt)**
 - **セリウム (Ce)** 4BODY 研磨技術の概念を活用したセリウム使用量低減技術の開発
 参加団体：立命館大学、㈱クリスタル光学、㈱アドマテックス、九重電気㈱
 - **テルビウム (Tb)**
 - **ユウロピウム (Eu)**
 - **新規磁石 (Dy代替)** 脱レアアース次世代モーターの研究開発
 参加団体：北海道大学、東京工業大学、東京理科大学

3. 会員の協会担当者の交代

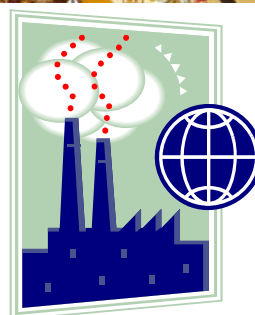
2月17日の第208月例会で紹介されました。会員各位よろしくお願ひいたします。

- 相田化学工業株式会社
 【前任者】 Au 営業部 課長 塩田 敦 殿
 【新任者】 Au 営業部 課長 西宮 知明 殿

4. 第208回月例会(講演会)は無事終了



2月17日(木)15時30分より JX グループ・六本木クラブで月例会が開催されました。開催に当り副会長 細田顕治(松田産業株)より開会の挨拶と業界の状況解説があり、NEDO 環境部の矢内俊一氏によるクリーンコールテクノロジー～地球環境との調和～という演題で講演をいただきました。参加者は40名強の盛会で80分という時間もあったという間にすぎました。石炭は過去の遺物という観念がありましたが、石油採掘寿命に比べ採掘技術、燃焼技術、環境技術の進展により、世界規模で見ると、これからも大事な技術であることを実感いたしました。講演終了後、会場を変え、スタートに副会長 宮崎隆史(株徳力本店)より新春の放談とレアメタル業界の活況を祈念したお話をいただき、講演者、出席会員による新年会が催され有意義な日となりました。矢内様有難うございました。



5. 事務局より (3月度の予定)

曜日	月	火	水	木	金	土
1週	2/28 ○	1 ○	2 ×	3 第2回調査委	4 ○	5 ×
2週	7 ○	8 ○	9 ×	10 ×	11 ×	12 ○
3週	14 ×	15 ×	16 ○	17 ×	18 第8回運営委	19 ×
4週	21 春分の日	22 ○	23 △	24 第23回JSCRA会	25 ○	26 ×
5週	28 ×	29 ○	30 ○	31 ×	4/1 ×	4/2 ×

事務局延べ出勤予定：13日(○;終日、△;半日、×は休日)。

6. 【雑学】 発祥の地(私学揺籃の地)IX

学校発祥の地紹介も9回目になりました。今回は現在の女子大学発祥の地を2校(千代田区内にて発祥) 紹介いたします。

【東京女学館大学】

発祥の地は現在の千代田区永田町二丁目とされています。メトロ半蔵門線永田町駅を出ると国道246号線です。赤坂見付からは上り坂になり道路の南側には高台である広々とした敷地の中に参議院議長公邸、衆議院議長公邸があります。議長公邸の南側一角にはメキシコ大使館があります。この公邸の北面の塀壁に東京女学館のレリーフがひっそりとめ込まれています(よくよく注視しないと見逃しますが)。何故この場所が発祥かは設立が皇室やら明治の元勳・伊藤博文らが関与していたことによるようです。レリーフの文面を示します。



東京女学館発祥の地

有光次郎書

東京女学館は、明治二十年この地(旧松平出羽の守邸、俗に雲州屋敷、のち閑院宮邸)を皇室より貸与され、翌二十一年開校した。その後、麹町三年町(旧工部大学校)に移り、「虎ノ門女学館」と称せられた。大正十二年関東大震災のため焼失したので渋谷御料地に移り、女子の一貫教育の場として今日に到っている。ここに、往古を偲び、将来の弥栄を祈り、創立百周年を記念して碑を掲げる。

(昭和五十四年一月吉日) (学校法人) 東京女学館

一人ひとりが輝く教育をモットーとする東京女学館は1956年渋谷区羽沢町で短期大学を開設し、1978年、町田市鶴間1105に移転しました。後に2002年大学を開学し現在に到っています。現在のキャンパス名称は南町田キャンパスで最寄の駅は東急田園都市線南町田駅(グランバリーモール前)より徒歩12分の所に有ります。

【津田塾大学】

私立女子大学のトップ校といわれている津田塾大学は、大学HPのトップページには**世紀を超えて女性を勇気付ける**とありますが、津田塾の卒業生は我国において、政界からも男女平等、雇用均等々の推進と法制化に中心的役割を果たしているといわれています。

1871年留学生の中では最年少の満6歳で岩倉使節団に随行して渡米した津田梅子は1882年11年間過ごした米国より帰国し華族女子学校などで教職に着きました。1900年東京府知事より認可を受け、麹町区に女子英学塾を開学しました。1931(昭和6)年、現在の津田塾大学の校地である小平市津田町2-1-1に移転し現在に到っています。



発祥の地はメトロ半蔵門線半蔵門駅で下車した、一本裏通りにある現在の千代田区一番町27にあり、クッキーの開新堂ビルの南壁に**Tsuda College Founded Here in 1900**という、シンプルな金属プレートが貼りつけられています。そのビルの南側には日本カメラ博物館^{*1}があり、12月には報道写真家・名取洋之助^{*2}展がありました。散歩した日は月曜日休館で残念ながら入館できませんでした。

日本カメラ博物館^{*1}

日本カメラ財団が保存する約1万台のカメラや、貴重な資料が展示される博物館。日本のカメラの発展史を系統的に展示する他、機能別・国別などカメラの魅力をあらゆる角度から掘り下げる「特別展」も開催され、世界中から集まった歴史カメラの名機、名作、珍品も見ることができる。

名取洋之助^{*2}

戦前は1933年に木村伊兵衛、原弘、伊奈信男、岡田桑三らとともに日本工房を設立、1934年に、対外宣伝誌『NIPPON』を創刊、土門拳を重用。戦後は『週刊サンニュース』や岩波写真文庫の編集に携わり、辣腕を振るった。岩波写真文庫は、第1回菊池寛賞を受賞している報道写真家である。



【文責：専務理事】